競技会名　　国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会2011

共同主催　　社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 J.J.Y.U.と云う)
愛知県ヨット連盟　名古屋市ヨット連盟　なごやジュニアヨットクラブ

期　　日　　平成 23 年 8 月 5 日(金)、6 日(土)、7 日(日)

会　　場　　海陽ヨットハーバー
〒443－0014　愛知県蒲郡市海陽町1丁目7番地
電話　0533－59－8851　FAX　0533－59－8185
※　開会式:海陽ヨットハーバー内
※　国際交流会:ラグナシア
〒443-0014　愛知県蒲郡市海陽町 2 丁目
電話　0533-58-2700
※　競技海面:海陽ヨットハーバー沖(上級者用、初級者用の 2 海面使用)
※　閉会式:海陽ヨットハーバー内

競技種目　　① OP 級初級者　② OP 級上級者　③レーザー 4.7　④ シーホッパー級 SR
⑤ミニホッパー級　⑥セーリングスピリッツ級　⑦ FJ 級

レース公示(案)

1　適用規則

(1) 2009－2012 セーリング競技規則(以下規則という)に定義された規則を適用します。
ただし、帆走指示書によって変更された部分を除きます。

(2) 付則Pを適用します。

(3) 使用言語間で矛盾が生じた場合は、英文を優先します。

2　広告

主催団体により選択され提供された広告を表示するよう要求されることがあります。

3　参加資格

(1)J.J.Y.U.に登録しているジュニアヨットクラブの提出する当該年度ジュニアセーラー名簿記載の選手
(未登録クラブの選手は参加申込み時までにクラブの登録をして参加資格を取得して下さい)

(2) 主催者が招待した海外チームの選手

(3) 主催者が参加を認めた選手

(4) 各級の年齢制限 (平成 23 年 4 月 2 日現在) を満たす者

＊　OP 級・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8 歳以上中学生以下

＊　ミニホッパー級・・・・・・・・・・・・・10 歳以上中学生以下

＊　シーホッパー級SR、レーザー 4.7、セーリングスピリッツ級、FJ級
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・中学生以上高校生以下

(5)国内参加選手は2011年度 JSAF 会員である者
(会員未登録の場合は参加受付時に会員登録の申込みをして下さい)

(6) これまでの国際交流日本ジュニアヨットクラブ競技会及び日本少年少女オープンヨット大会の初級者種目で艇種に関係なく10位までの成績に入った者は、同一艇種に出場する場合はそれぞれの

上級者種目に参加しなければなりません。但し、参加申込み時に第 10 項「表彰」の辞退を表明された場合は主催団体の裁量で同種目の参加を認める場合があります。

4 参加料等

参加料は次の通りです。

選手・・・・・・・・・・・8,000 円 /1人（交流会費込み）
指導者・保護者・・・・・ 5,000 円 /1人（交流会費込み）
同伴小中高生・・・・・・・2,000 円 /1人（交流会費のみ）

5 日　程

（1）第 1 日目:8 月 5 日(金)

13:00～15:00　受付・帆走指示書配布（海陽ヨットハーバー内本部受付）
16:00～17:00　開会式（会場:海陽ヨットハーバー内 ）
17:00～17:30　安全講習会（会場:同上 ※選手、指導者・保護者全員参加）
17:30～17:50　競技説明会（会場:同上 ※競技役員、指導者・保護者参加）
18:00～20:00　国際交流会（会場:ラグナシア ※国内外選手、指導者・保護者及び競技会役員参加）

（2）第 2 日目:8 月 6 日(土)　種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

A(上級者)海面		B(初級者)海面	
種目	予告信号予定時刻	種目	予告信号予定時刻
セーリングスピリッツ級 FJ 級 上記2種目同時スタート	第 1 レース 10:00	OP級初級者	第 1 レース 10:00
レーザー 4.7 シーホッパー級 SR ミニホッパー級 上記3種目同時スタート	第 1 レース 10:05		
OP級上級者	第 1 レース 10:10		
引続き第 2～第 5 レースを実施します。この日は 16 時を過ぎてからは予告信号を発しません。			

※天候等の諸条件により、最大6レースを行う場合があります。

(3)第３日目:8月７日(日)　種目別スタート順番とスタート予告信号予定時刻

A(上級者)海面		B(初級者)海面	
種目	予告信号予定時刻	種目	予告信号予定時刻
セーリングスピリッツ級 FJ級 上記２種目同時スタート	当日最初のレース 09：30	ＯＰ級初級者	当日最初のレース 09：30
レーザー4.7 シーホッパー級SR ミニホッパー級 上記３種目同時スタート	当日最初のレース 09：35		
ＯＰ級上級者	当日最初のレース 09：40		
引続きレースを実施します。この日は12時を過ぎてからは予告信号を発しません。			

第2日目．第3日目とも、引き続きレースを実施する場合、艇に注意を喚起する為に、予告信号の少なくとも4分前までに、本部艇に音響1声とともに「オレンジ旗」が掲揚されます。

15:30～16:30　閉会式（会場:海陽ヨットハーバー内）

※以上、競技日程は天候等によりやむを得ず変更されることがあります。

6 帆走指示書

帆走指示書は平成23年8月5日(金)の受付時に配布する競技会プログラムに記載します。

事前には平成23年7月上旬までにJ.J.Y.U.と愛知県ヨット連盟のホームページで公開します。

J.J.Y.U.のURL　http://www.jjyu.net

愛知県ヨット連盟のURL　http://www.ayf.jp/

7 コース

帆走するコースは添付図の通りです。

8 レース回数

(1) 各種目とも２日間で７レースを予定しますが１レースの成立をもって競技会は成立します。

(2) ７レースが成立した場合は、最も悪いレースの得点を除外した合計得点で順位を確定します。
それ以外は全てのレースの合計得点を計算して順位を確定します。
(これは付則Ａ2を変更するものです)。

9 得点方法と順位確定方法

(1) 種目別個人対抗レースの得点方法と順位確定方法

① パンパシフィックジュニアヨット種目別個人対抗レースの成績は国内選手と海外選手を合わせた全選手の得点により順位を確定します。

② 国内ジュニアヨット種目別個人対抗レースの順位は上記①の順位に基づいて確定します。

(2) ジュニアヨットクラブ対抗レースの順位確定方法

前項(1)の種目別個人対抗レースの成績結果を用いて次の方法によりジュニアヨットクラブ対抗レースの順位を確定します。

1 各ジュニアヨットクラブの選手が参加している全種目の内、6 艇以上の参加する種目の上位 3 艇の成績の順位を合計します。

2 各ジュニアヨットクラブの本競技会の参加艇数が 3 艇以上の場合は、3 艇を超える超過分 1 艇につき－1 点の評価点を加算し、その加算は－5 点を限度とします。
3 艇に満たないときは3艇に不足する分だけ 1 艇につき最多参加艇数の種目の最下位の順位を加算します。

3 その結果、順位の合計が低いジュニアヨットクラブを優位とすることにより順位を確定します。

4 結果が同順位の場合は合計参加艇数の多いジュニアヨットクラブの方を優位とします。
それでも順位が確定できない場合は参加艇種の多い方を優位とし、それでも同じ場合は 3 艇の順位で上位の艇がある方を優位とし、更に同じ場合は参加艇数の多い種目での上位の艇がある方を優位として順位を確定します。

5 パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レースの成績は、国内ジュニアヨットクラブと海外ジュニアヨットクラブを合わせた全クラブの上記①から④より計算した順位により順位を確定します。

6 国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの成績は上記⑤の成績に基づいて、国内ジュニアヨットクラブの順位を確定します。

10 表 彰

(1) 個人表彰

①特別表彰(文部科学大臣表彰、国土交通大臣表彰、他)

各種目の国内最高順位選手には次の通り特別表彰の賞状、賞杯を授与します。

・OP 級上級者の最高順位選手に文部科学大臣の賞状と大臣杯及び奥村純雄杯
・OP 級初級者の最高順位選手に国土交通大臣の賞状と大臣杯及び小澤吉太郎杯
・レーザー 4.7 の最高順位選手に J.J.Y.U.会長杯
・シーホッパー級SRの最高順位選手に海王丸杯
・ミニホッパー級の最高順位選手に YMFS 理事長杯
・FJ 級の最高順位選手に蒲郡市長賞
・セーリングスピリッツ級の最高順位選手に愛知県ヨット連盟会長杯(＊)

【注意事項】

※シーホッパー級SRの参加選手数がレーザー 4.7 の参加選手数を上回る場合は、J.J.Y.U.会

長杯はシーホッパー級SRの最高順位選手に授与し、海王丸杯はレーザー 4.7 の最高順位選手に授与することにします。

※セーリングスピリッツ級の参加定数が6艇未満となった場合には愛知県ヨット連盟会長杯は授与されません。

②連盟表彰

・各種目の国内上位入賞者第 1 位から第 3 位にはメダルを授与します。

・各種目の国内上位入賞者には、次の通り J.J.Y.U.会長の賞状を授与します。

OP級初級者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第 1 位から第 10 位

OP級上級者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・第 1 位から第 8 位

レーザー 4.7、シーホッパー級SR、ミニホッパー級・・・・第 1 位から第 6 位

セーリングスピリッツ級、FJ 級、・・・・・・・・・・・ 第 1 位から第 3 位

但し、いずれの種目も参加艇数が6艇未満の場合は第 1 位から第 3 位までとします。

③国際交流表彰

国際交流個人賞として海外選手が参加する種目において国内外を問わず上位入賞者第 1 位から第 3 位には J.J.Y.U.会長の賞状とメダルを授与します。

(2) 団体表彰

①国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの表彰

・優勝チームには J.J.Y.U.会長の賞状と会長杯を授与します。

・2 位、3 位には J.J.Y.U.会長の賞状と会長盾を授与します。

②パンパシフィックジュニアヨットクラブ対抗レースの表彰

国際交流団体賞として上位入賞チーム第 1 位から第 3 位には J.J.Y.U.会長の賞状と会長盾を授与します。

(3) 特別賞

①国内ジュニアヨットクラブ対抗レースの上位入賞 3 チームの選手 3 名(各チーム 1 名)を海外研修に派遣、その渡航費を援助します。

②同じく国内ジュニヨットクラブ対抗レースの 7 位と 10 位のクラブの2選手(各クラブ 1 名)を関東水域OP連絡会主催タイクリニックの海外研修に派遣することで所定の費用を全額援助します。

※上記の(＊)以外の賞杯は持回りとし、翌年返還時にはレプリカを授与します。

11　サポートボートの持込み

「参加申込書」第4項に必要事項を記入の上、申し込んで下さい。

持込み料は各自が参加受付日までに海陽ヨットハーバー管理事務所に直接支払ってください。

サポートボートは船舶検査済みであり、ヨットモーターボート保険（対人対物賠償責任保険、搭乗者傷害保険)に加入していることとします。

12　責任の所在

(1) 本競技会の主催者、関係各団体及びレース委員会は競技会期間中とその前後において発生した人的損傷もしくは生命の喪失または物的損傷もしくは遺失についてはいかなる責任も負いません。

(2) レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみありますが、同時にその艇の選手が所属するクラブの代表者(責任者)はその決定について確認をして、結果クラブの選手全員について把握することとします。

【問合せ先】

〒225-0003　横浜市青葉区新石川 3-16-11
本競技会実行委員会
事務局長　　小野一臣
TEL＆FAX　045－911－1132
携帯　09025682181
E-mail: kazuono@sk9.so-net.ne.jp